



由布院駅舎



COMICO ARTMUSEUM



風の丘斎斎場



ヒカリテラス



見学

由布市 ツーリストインフォメーションセンター



(建築士会CPD予定)

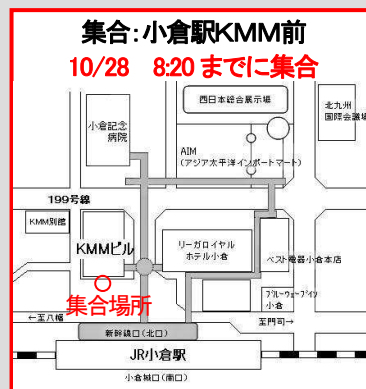
北九州地域会 研修旅行 2018

- ☆ 日 程 平成 30 年 10 月 28 日(日)
- ☆ 募集人員 30名(先着)
- ☆ 参加費 士会会員 4,000円 学生 1,000円
一般(会員以外) 7,000円
- ☆ 申し込み先 (社)福岡県建築士会北九州地域会 研修旅行担当: たく建築設計 岡松
TEL: 0949-26-7450 FAX: 0949-26-7453 E-mail: mail@tac-sec.com
- ☆ 申し込み方法 電話、ファックス又はEメール
※ファックス又はEメールには「北九州地域会 研修旅行 2018」と記載し、
①参加者氏名、②フリガナ、③性別、④年齢、⑤当日の連絡先、
⑥CPD 番号、⑦会員種別(士会会員、一般又は学生)を明記してください。
又、懇親会参加の有無を明記してください。
- ☆ 締め切り 平成 30 年 10 月 20 日(土) ※参加者 30 名になり次第終了。

- ☆ 懇親会 参加費 4,000円(学生は半額)
※当日解散後、懇親会を予定

※移動は貸切バス、見学場所は行程の都合により変更になる場合があります。

8:30 10:40 12:15
10/28 小倉駅KMM前 → COMICO ARTMUSEUM → 昼食
13:05
→ 由布院駅舎、由布市ツーリストインフォメーションセンター →
15:10 16:15 18:20
風の丘斎斎場 → ヒカリテラス → 小倉駅KMM前(解散)
※18:30~ 懇親会(八雲亭:小倉北区鍛冶町)



~~~~ファックス送信状~~~~  
【申し込み書】 FAX 送信先 (社)福岡県建築士会北九州地域会 研修旅行担当: たく建築設計 岡松  
[ FAX : 0949-26-7453 ]

研修旅行参加の申し込みをいたします。

氏名 : ..... フリガナ : ..... 種別 : 【 士会員 ・ 一般 ・ 学生 】  
連絡先 : (住所) ..... (TEL) .....  
CPD番号 : ..... 性別 : 【 男 ・ 女 】 年齢 : 歳  
学校名(学生のみ記入): ..... 懇親会: 【 参加 ・ 不参加 】

(公社)福岡県建築士会  
北九州地域会



## 【 由布院駅舎 】

所在地／由布市湯布院町川北 設計者／磯崎新アトリエ(磯崎新) 施工者／大林組 竣工／1990年  
建物用途／駅舎 構造規模／木造平屋建

大分県を代表する建築家、磯崎新氏設計による、JR 久大本線・由布院駅の駅舎。森ゆたかな湯布院のイメージにあわせた杉材・木造の駅舎で、イタリア・フィレンツェのメディチ家礼拝堂をイメージしたと言われる。

黒のシックな板張りでまとめられた、落ち着いた外観。コンコースを挟んで、駅事務室とギャラリーが両翼にならぶ。内観は外観と対照的に、白を多用。コンコースは12mの高さを持った塔の吹き抜けの下になり、太陽光が注ぎ込む明るい空間である。

## 【 由布市 ツーリストインフォメーションセンター 】

所在地／由布市湯布院町川北 設計者／坂茂建築設計(坂茂) 施工者／森田建設 竣工／2018年  
建物用途／観光案内書 構造規模／木造一部鉄骨造 2階建て

建築家 坂茂氏が手掛けた建物は、全面ガラス張りとなっており、雄大な由布岳を望むことができる。また、梁や柱は緩やかな曲線を描いており、まるで森の中にいるような空間となっている。

地元 由布市の観光情報はもちろん、大分県内の観光情報を発信するほか、旅に関する本を集めた図書館や展望デッキなどもあり、くつろぎの場所としても利用されている。

## 【 COMICO ARTMUSEUM 】

所在地／由布市湯布院町川上 設計者／隈研吾建築都市設計事務所(隈研吾) 施工者／(株)佐伯建設 竣工／2017年  
建物用途／美術館 構造規模／鉄骨造 地下1階 地上3階

温泉観光地として独自の文化を育んできた由布院にたつ、現代アートのための小さな美術館。

由布院盆地を彩る青々とした山々と、展示される現代アートを引き立てるために、黒い焼杉で建物を覆っている。遠目では真っ黒のヴォリュームだが、間近で見ると焼杉特有のウロコ模様や木の温もりが伝わってくる。焼杉をランダムに小端立てにすることで、40mを超える壁面に深いリズムを与え、街並みのリズムとシンクロさせている。

独立した二つの展示室は、屋外から入り込む水盤をはさむ形で静かに向かい合う。ミニマルな展示空間とは対照的に木と和紙で包まれた2階ラウンジと、それにつながる枯山水の庭は、凜としてそびえたつ由布岳を仰ぎみるための前庭として調えられている。

※焼杉: 杉板の表面を焼くことで炭化させて耐久性を高めた素材で、西日本では外壁材として伝統的に使われてきたもの。

## 【 風の丘葬斎場 】

所在地／中津市相原 設計者／槇総合計画事務所(槇文彦) 施工者／飛鳥建設(株) 竣工／1997年  
建物用途／斎場 構造規模／鉄筋コンクリート、鉄骨造 地上2階

斎場は中津市郊外の丘に建ち、広々とした庭園のランドスケープと一体に計画されている。前庭は公園のように開かれたオープンスペースであり、建築は半ばアースワークに埋もれ、ランドスケープの一要素のように断片化されている。

内部空間は中庭をめぐる、葬送の儀式に従った各スペースが配されている。余分な要素を排し、素材と空間そのものの姿が静かな光によって浮かび上がることを目指している。

## 【 ヒカリテラス 】

所在地／中津市上宮永 設計者／NKS アーキテクト(末廣香織・末廣宣子) 竣工／2014年  
建物用途／葬祭場 構造規模／鉄筋コンクリート、木造 地上1階

中津市のロードサイドにつくられた葬祭場。小さな寄棟の屋根が集まった集落のような建物で、各部屋にそれぞれ屋根が掛けられていて、葬祭場を意識させない外観となっている。

葬祭場という用途上、外部に対しては RC の壁で閉鎖されているが、各部屋は建物に複数設けられた中庭に面して開放的な空間となっている。